

ステークホルダーの皆さまへ



夢と活力のある会社づくりを通して、高い企業価値を
創造していきます

代表取締役会長 東 哲郎

2007年3月期は、売上高(8,520億円)、営業利益(1,440億円)、当期純利益(913億円)ともに年初目標を大幅に超え、過去最高の業績を達成することができました。また、株主の皆さまへの利益還元につきましても、前期比48円増の1株当たり103円の過去最高の配当を行うことができました。あらためて皆さまのご支援に対して深く感謝申し上げます。

この期が私たちにとって特に意義深かった点は、会社が「Quality 一質」の面で大きく前進した年となった点です。開発力、製造力、効率的経営——これらが高い目標の実現に向けて大きくステップアップし、その結果、前期比90.2%増の営業利益を達成することができました。

今後、世界は、地球上の人間が時間と地域の境界を越えて自由にコミュニケーションできる時代、すなわちワイヤレス・デジタル・ネットワークの時代へと急速に変化していきます。半導体産業およびフラット・パネル・ディスプレイ(FPD)産業は、まさにそうした時代の進化を促す基幹産業として、その技術がますます重要になると同時に、大きな成長が期待

できます。その中で、当社のお客さまである半導体メーカーおよびFPDメーカーは、製品の基本アーキテクチャーおよびソフトウェアの開発に重点をシフトし、情報伝達スピード、低消費電力、環境負荷の低減など、半導体・FPDそのものの性能を左右するプロセス技術や製造技術は私たち製造装置メーカーの役割へと大きくシフトしてきています。

東京エレクトロンは、夢のある未来社会の実現に向けて、お客さまがその技術を安心して任せられる製造装置メーカーになることを目指し、鋭意努力してまいります。また、その使命を担う人材を大切に育て、夢と活力のある会社を実現していきます。そして、私たちの社会への貢献度を示す利益を、株主の皆さまを始め、お客さま、地域社会、従業員等、全てのステークホルダーに継続的に還元してまいります。

今後の東京エレクトロンの成長にご期待いただき、引き続き、皆さまの変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長 東 哲郎